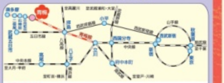
青梅市

観光歩き道マップ

梅の郷コース

◀青梅へのアクセス▶

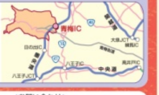


電車の場合▶▶▶

- ●東京・千葉方面から…中央線快速青梅行または、中央線立川駅乗換→青梅線青梅駅
- ●大宮・浦和方面から…武蔵野線西国分寺駅乗換→中央線立川駅乗換→青梅線青梅駅
- ●横浜・町田方面から…横浜線八王子駅乗換→八高線拝島駅乗換→青梅線青梅駅

自動車の場合▶▶▶

- ●東京・千葉方面から
  中央道八王子JCT→
  圏央道日の出IC→
  国道411号
- ●さいたま方面から
  関越道鶴ヶ島JCT→
  圏央道青梅IC
- ●横浜・町田方面から
  国道16号→国道411号



◀お問い合わせ▶

青梅観光案内所……………0428-20-0011
(9:30～17:30・年中無休)
観光テレホンサービス……………0428-24-3400
観光情報ホームページ……………青梅市観光協会 で 検索

青梅市商工観光課観光係
〒198-8701 東京都青梅市東青梅1-11-1
TEL 0428-24-2111(代)
協力：一般社団法人 青梅市観光協会

(掲載情報は2010年12月現在のものです。変更の場合がありますので事前に電話等でご確認ください。)

梅の郷コース

JR二俣尾駅からJR日向和田駅の南西に広がる「梅の郷コース」は、
青梅市梅の公園から個人の梅園まで
大小さまざまな梅の名所を誇る吉野梅郷をめぐります。

両岸の思いをつなぐ優美な橋梁

❶ 奥多摩橋

昭和14(1939)年に掛けられたアーチ式の橋。高さは約40mです。戦前に造られた道路用鋼アーチ橋として最大の長さであり、非常に優美であるため、平成21年に土木学会選奨土木遺産に認定されました。

文豪が愛した名作のふるさと

❷ 吉川英治記念館

文豪・吉川英治(※1)が、昭和19年に青梅市(当時は吉野村)へ疎開し、この地で「新・平家物語」を執筆しました。記念館は、英治が「草思堂」と名付けた庄屋屋敷の一角にあります。

休館日：月(祝日の場合は翌日)　**開館時間**：10時～17時(入館は16時30分まで)(※11月～2月は10時～16時30分(入館は16時まで)　**入館料**：大人500円、中高大学生400円、小人300円　**電話**：0428-76-1575

鎌倉武士の鑑 畠山重忠ゆかりの寺院

❸ 即清寺 招春梅 オープンガーデン

元慶年間(877～885)に元昊和尚が開創。慶安元(1648)年には徳川家より明王堂領3石の朱印状が寄せられました。

境内にある梅の古木「招春梅」のほか、コウヤマキ、イチョウ、市内最大級のハクモクレン、枝垂れ桜など銘木が多数あり、四季ごとに楽しむことができます。

「梅郷」の梅はここから始まった

❹ 大聖院 親木の梅 オープンガーデン

本尊は不動明王です。慶安2(1649)年に4石の朱印状が下付されました。現在の本堂は天保3(1832)年に再建されたものです。

裏庭にある「親木の梅」は、樹齢700年余りの老木で、梅郷の梅の始祖といわれています。同じ青梅市にある金剛寺の「将門誓いの梅」を根分けしたと伝えられ、現在の木は、初代の木から根分けした二代目です。

岩の中で芽生えた儚い恋の物語

❺ 岩割の梅 オープンガーデン

別名「悲恋の梅」。

昔、土地の豪族三田氏(※2)と小田原の北条氏が戦ったとき、若武者と土地の娘がこの地で密かに会っていたそうです。その若武者が出陣する際に、岩に突き刺した一枝の梅が、その岩を割り、根付いたことから、「岩割の梅」と言われるようになったと伝えられています。

いにしえの道を彩る古木

❻ 鎌倉の梅 オープンガーデン

旧鎌倉街道のかたわらにある、樹齢約400年といわれる古木で、旧鎌倉街道ゆかりの梅です。現在は個人梅園の中にあります。

日本の伝統美を今に伝える

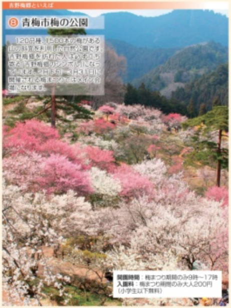
❼ 青梅きもの博物館

日本の伝統文化・着物の博物館。近代の着物を中心に収集され、大名や公家、皇族の貴重な衣装も多数保存されています。

休館日：月～木(金土日のみ開館。ただし団体で予約の場合は開館。12・1月は全休、3月は無休)
開館時間：10時～16時　**入館料**：大人800円、小人500円
電話：0428-76-2019(休館中の問合せは03-3821-2341)

吉野梅郷といえば

❽ 青梅市梅の公園



120品種、1500本の梅がある山の斜面を利用した自然公園です。吉野梅郷を訪れた人すべてが立ち寄る「吉野梅郷のシンボル」になっています。2月下旬～3月31日に開催される梅まつりではメイン会場になります。

開園時間：梅まつり期間のみ9時～17時
入園料：梅まつり期間のみ大人200円
(小学生以下無料)

チャレンジ山歩きコース

急な階段をあがるとそこには…

イ 愛宕神社

創建は元慶年間(877～884)と伝えられ、火産霊神(ほむすびのかみ)(※3)が祭られています。境内には桜とつつじが多く植えられており、眺望も良く名所となっています。

チャレンジ山歩きコース

気軽にお遍路様

ロ 山内新四国八十八ヶ所霊場

安政年間(1854～1860)に即清寺の第32世融慧和尚がこの地に四国霊場を開創しました。容易に四国へ出かけることのできなかった時代に、身近なところでお参りができるようにと、四国の各札所の本尊の写しと浄土をいただいて出来上がったものです。

チャレンジ山歩きコース

秩父多摩甲斐国立公園の静寂な山道を行く

ハ 吉野山園地

東屋が整備されおり気軽に散策ができます。新緑や紅葉もきれいで、ハイキングコースが愛宕神社や日の出山までつづいています。

御岳山～日の出山～吉野梅郷ハイキングコース

ケーブルカーや徒歩で御岳山へ登り、そこから日の出山を経由し吉野梅郷へ下りてくるコース。
長い距離を歩きたい健脚の方におすすめです。

ミニ解説

※1：**吉川英治**(よしかわえいじ)(1892-1962年)
日本を代表する作家。幅広い読者層から支持され、「国民文学作家」といわれた。代表作は「宮本武蔵」「三国志」「新・平家物語」「私本太平記」など。

※2：**三田氏**(みたし)
鎌倉時代末期から300年以上に渡りこの地を支配していた豪族。本拠は市内の勝沼城。(「花と古刹のコース」参照)。永禄6(1563)年に北条氏に攻められ滅亡した。

※3：**火産霊神**(ほむすびのかみ)
イザナギとイザナミとの間に生まれた火の神。「カグツチ」と表記されることも。

※4：**誉田別天皇**(ほんだわけのすめらのみこと)
第15代の応神天皇(おうじんてんのう)。

※5：**磐長比売命**(いわながひめのみこと)
日本神話の女神。不老長生の神として信仰されている。

吉野梅郷

JR青梅線日向和田駅から二俣尾駅までの多摩川南側、東西4kmに広がる地域。青梅市梅の公園をはじめ、地元農家の梅園や吉川英治記念館、青梅きもの博物館などの観光スポットが点在しています。

毎年2月下旬から3月31日までの「吉野梅郷梅まつり」の時期には、紅梅・白梅合わせて2万5千本もの梅が花をつけ、ほのかな香りをあたり一面にただよわせます。期間中には、全国から30万人以上が訪れる国内有数の梅の里です。

また、梅まつり期間中の3月上旬～中旬の日曜日に、梅の公園と神代梅通りで「観梅市民まつり」が開催されます。パレード、お囃子、郷土芸能、野点、琴の演奏など、数々のイベントで大変盛り上がります。

オープンガーデンについて オープンガーデン

樹木や草花を一般の方々に見ていただけるよう開放している「個人所有の庭」を、オープンガーデンといいます。個々のオープンガーデンは、趣旨に賛同された方々の善意により運営されています。庭によって、敷地内に入って見ることができるものや、外から楽しむものなど、さまざまな様式がありますので、マナーを守ったうえで、お気軽にご覧下さい。

おすすめ立ち寄り処

「梅の郷コース」にあるおすすめスポットです。

←海禅寺

Ⓐ **海禅寺** ～青梅を支配した三田氏の菩提寺～
創建は寛正年間(1460～1465)。当時は長勝山福禅寺と称されました。見晴らしの良い境内には、桜やつつじなどが植えられ、四季を通して親しまれています。

巨木 **クスノキ**　境内にある3本のクスノキは、市内では最大級。暖地性のクスノキが、内陸山間地に、これだけの巨木としてあるのは珍しいことから、市の天然記念物に指定されています。

←下山八幡神社

Ⓑ **下山八幡神社** ～都内では珍しい三間社流造り～
長久年間(1040～1044)に創建されたと伝えられており、誉田別天皇(※4)ほか3神が祭られています。現在の建物は宝暦5(1755)年に再建されたもので、市の有形文化財に指定されています。

←青梅きもの博物館前の山

Ⓒ **青梅きもの博物館前の山** ～吉野梅郷を一望～ オープンガーデン
山というよりも小高い丘という表現がぴったりの場所。ちょっと登るだけで吉野梅郷が一望でき、休憩にも最適です。

→天沢院

Ⓓ **天沢院** ～裏山は隠れた撮影スポット～ オープンガーデン
慶長8(1603)年の開創と伝えられ、本尊は釈迦如来。梅の公園からほど近い境内には、梅はもちろん季節の草花も植栽され、四季を通して楽しめます。

→旧鎌倉街道

Ⓔ **旧鎌倉街道** ～いざ、鎌倉～
上州(現在の群馬県)から秩父盆地を通過し、山間部の集落を経て、鎌倉に至る街道の跡。政治・文化の中心が鎌倉にあったころの昔を現在に伝えてくれます。

→西東京農協グリーンセンター

Ⓕ **西東京農協グリーンセンター** ～地元産を豊富に品揃え～
地元で採れた新鮮な農産物や、梅干し、粕漬けなどの物産品が多数販売されています。6月には梅の実の販売も。

定休日：年始　**営業時間**：9時～17時
電話：0428-76-1325

→石神神社

Ⓖ **石神神社** ～二俣尾の氏神様～
創建年代は不明。磐長比売命(※5)が祭られています。

巨木 **イチョウ**　樹高約27m、幹周り約6.5m。地元では母乳の神様として親しまれる市内最大のイチョウ。市の天然記念物に指定されています。

Ⓘ **ロウバイの道** ～春が待ち遠しい甘い香り～
地元の方々により、多摩川に近い道沿いにロウバイの苗木が植栽されました。木の成長とともに新たな観光スポットとして期待されています。